

研究内容に合わせて適宜修正してください。

ホームページ掲載内容

大腿骨頸部骨折に対し人工股関節全置換術の 治療を受けた患者さんへ 【診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター整形外科学講座では「人工股関節全置換術を行った大腿骨頸部骨折患者における認知症の有無による機能予後改善度の後ろ向き検討」という研究を行っております。この研究は、前方進入法による人工股関節全置換術が、認知症であるかを問わず大腿骨頸部骨折患者に対し有用な手術法であるかを調べることを主な目的としています。そのため、過去にこの手術を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは大腿骨頸部骨折の方で、2018年8月1日から2022年6月30日の間に整形外科で人工股関節全置換術を受けた方です。

・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴(認知症の有無を含む)、術前・術後ADL及び歩行能力、画像所見(単純X線、CT)、手術情報

期間：2018年8月1日から2022年6月30日

この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

・研究実施期間 倫理委員会承認日 ~ 2023年8月31日まで

・研究責任者 尾崎 友

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、整形外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 整形外科

電話：03-5632-3111（内線）1273

研究担当者：奥野 竜司